

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成30年第1週（平成30年1月1日～平成30年1月7日）

今週は、年始休暇の影響により定点把握対象疾患の動向は参考値となります。

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び四類感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症1人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、急性脳炎2人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2人、侵襲性肺炎球菌感染症3人、梅毒2人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**インフルエンザ**(19.50 23.64 17.52：図1-4)の定点当たり報告数は、年末年始の休暇前(第51週：平成29年12月18日～12月24日)と同水準に留まった。保健所別では、全保健所から報告があり、草加(18.95 26.05)保健所管内で大きく増加し、幸手(32.36)、川口(24.27)保健所管内からの報告が多い。平成29年第50週～平成30年第1週の4週間(平成29年12月11日～平成30年1月7日)に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別が終了した115検体は、B型(山形系統)が53検体(46.1%)、AH1pdm09型が52検体(45.2%)、AH3型が9検体(7.8%)、B型(ビクトリア系統)が1検体(0.9%)であった。また、基幹定点報告対象疾患である**インフルエンザ(入院)**(11人 21人)の報告数は前週より増加した。**水痘**(0.61 0.59 0.60)の定点当たり報告数は、休暇前と同水準であった。保健所別では、鴻巣(0.25 1.42)保健所管内で大きく増加し、幸手(1.56)、加須(1.17)保健所管内からの報告が多い。

眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎**1人、**流行性角結膜炎**20人の報告があった。他の基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎**1人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1人（類型 患者、血清型 0157）
四類感染症	報告なし	
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1人（菌種 <i>Serratia</i> sp.）
	急性脳炎	2人（インフルエンザウイルスB型1人、病原体不明1人）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2人（血清群A群1人、不明1人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	3人
	梅毒	2人（病型 早期顕症 期1人、早期顕症 期1人）
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1人（菌種名 <i>Enterococcus faecium</i> ）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報（第1週） 小児科定点・内科定点からの報告

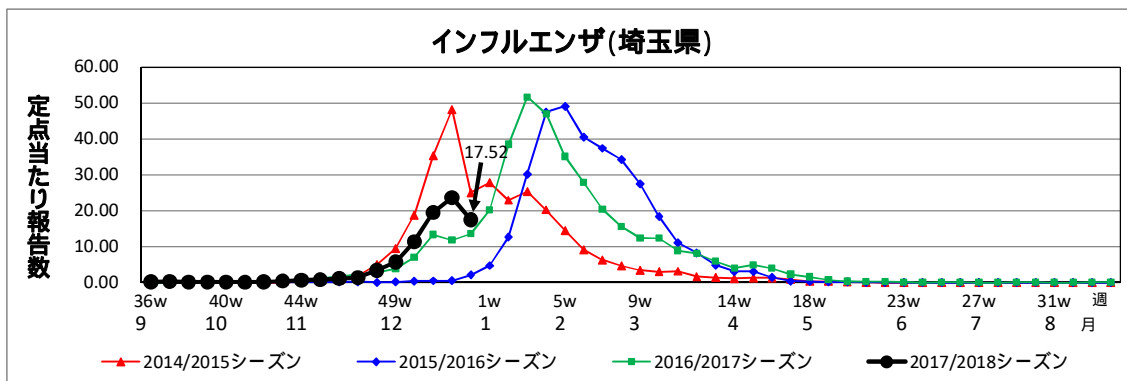


図1 定点当たり報告数の推移

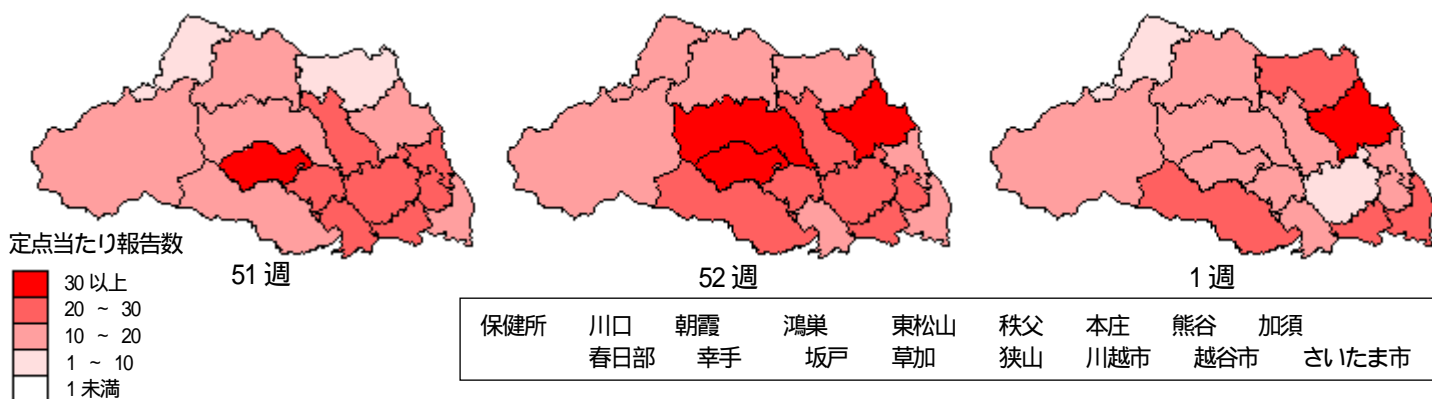


図2 流行の推移（2017年51週～2018年1週）

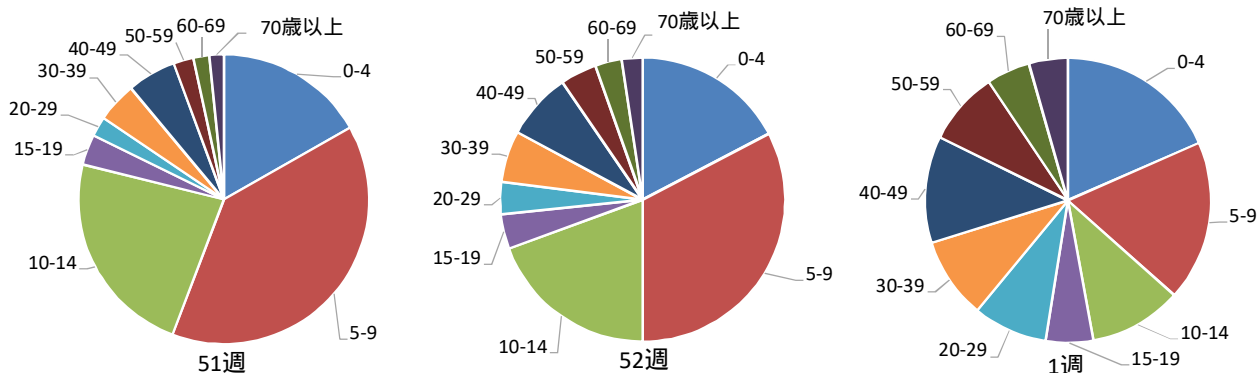


図3 各週における報告患者の年齢（割合）

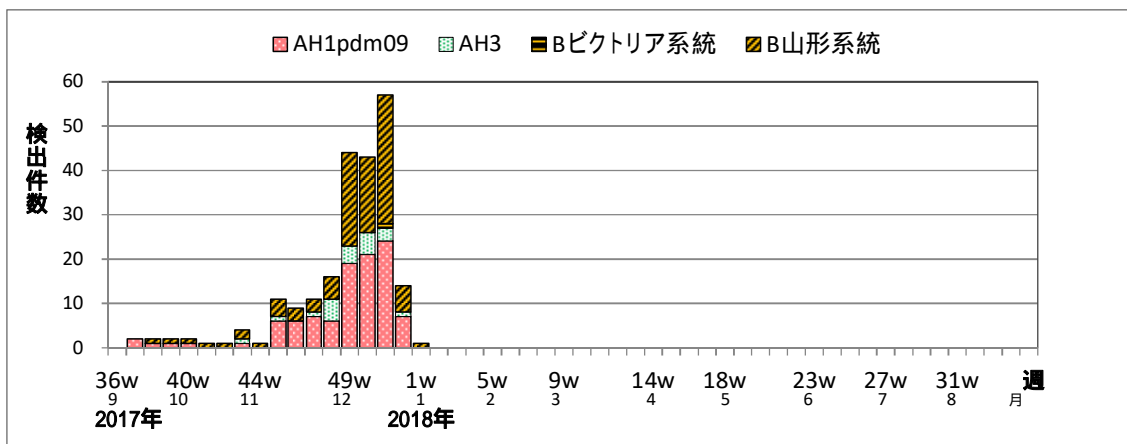


図4 AH1pdm09、AH3、B（ビクトリア系統、山形系統）の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第1週)

(2018年1月9日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2017年 累計		今週 届出	累 計	2017年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1280	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			3
細菌性赤痢			7	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	1	1	246				
四類感染症							
E型肝炎			19	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			12	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病			1	ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			1
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症			99
つつが虫病			2	レプトスピラ症			2
デング熱			12	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢			53	水痘*			12
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			11	先天性風しん症候群			
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	57	梅毒	2		232
急性脳炎	2	1	45	播種性クリプトコックス症			3
クリプトスポリジウム症				破傷風			2
クロイツフェルト・ヤコブ病			4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	21	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1		12
後天性免疫不全症候群			34	百日咳			-
ジアルジア症				風しん			6
侵襲性インフルエンザ菌感染症			20	麻しん			5
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			8
侵襲性肺炎球菌感染症	3	2	131				
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計				

累計は診断日で集計
*2017年累計は暫定値です。
*結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第1週 平成30年1月1日～平成30年1月7日)

	報告患者数												年齢別											
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~			
インフルエンザ #1	4,310	18	63	157	184	176	195	175	174	152	160	125	452	233	362	399	522	361	212	107	83			
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~				
RSウイルス感染症	50	21	12	11	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
咽頭結膜熱	52	-	1	10	10	10	6	6	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	176	-	2	4	12	12	17	20	15	21	11	11	25	10	16	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎	567	8	43	104	51	55	39	35	32	22	21	44	12	79	-	-	-	-	-	-	-			
水痘	94	-	-	3	6	4	6	14	16	17	7	5	15	-	1	-	-	-	-	-	-			
手足口病	9	-	1	2	1	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
伝染性紅斑	11	-	-	1	-	1	4	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
突発性発しん	35	-	10	21	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	-	2	-	2	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	-	-			
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
流行性角結膜炎	20	1	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	3	7	6	-	-	-	-	-			
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~	-	-	-	-	-			
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
マイコプラズマ肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
クラミア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(入院)インフルエンザ	21	2	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	13	-	-	-	-	-			

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

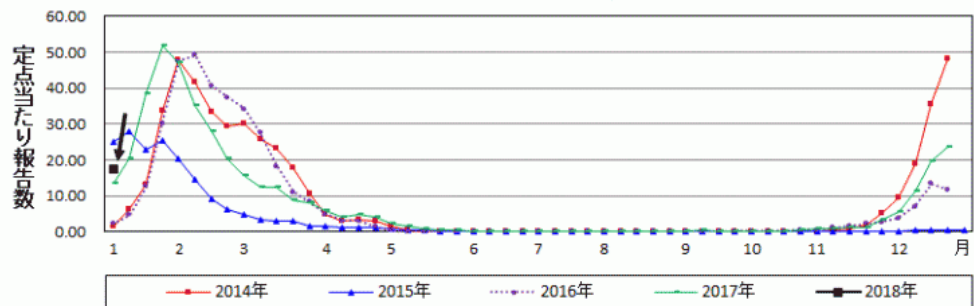
感染症の流行状況 2018年 第1週

2018年第1週（平成30年1月1日～1月7日）の要点 平成30年1月10日

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、年末年始の休暇前と同水準に留まりました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	伝染性紅斑(りんご病)	↓	★
RSウイルス感染症	↓	★	突発性発しん	↓	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓	★
感染性胃腸炎	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↓	★★
手足口病	↓	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン